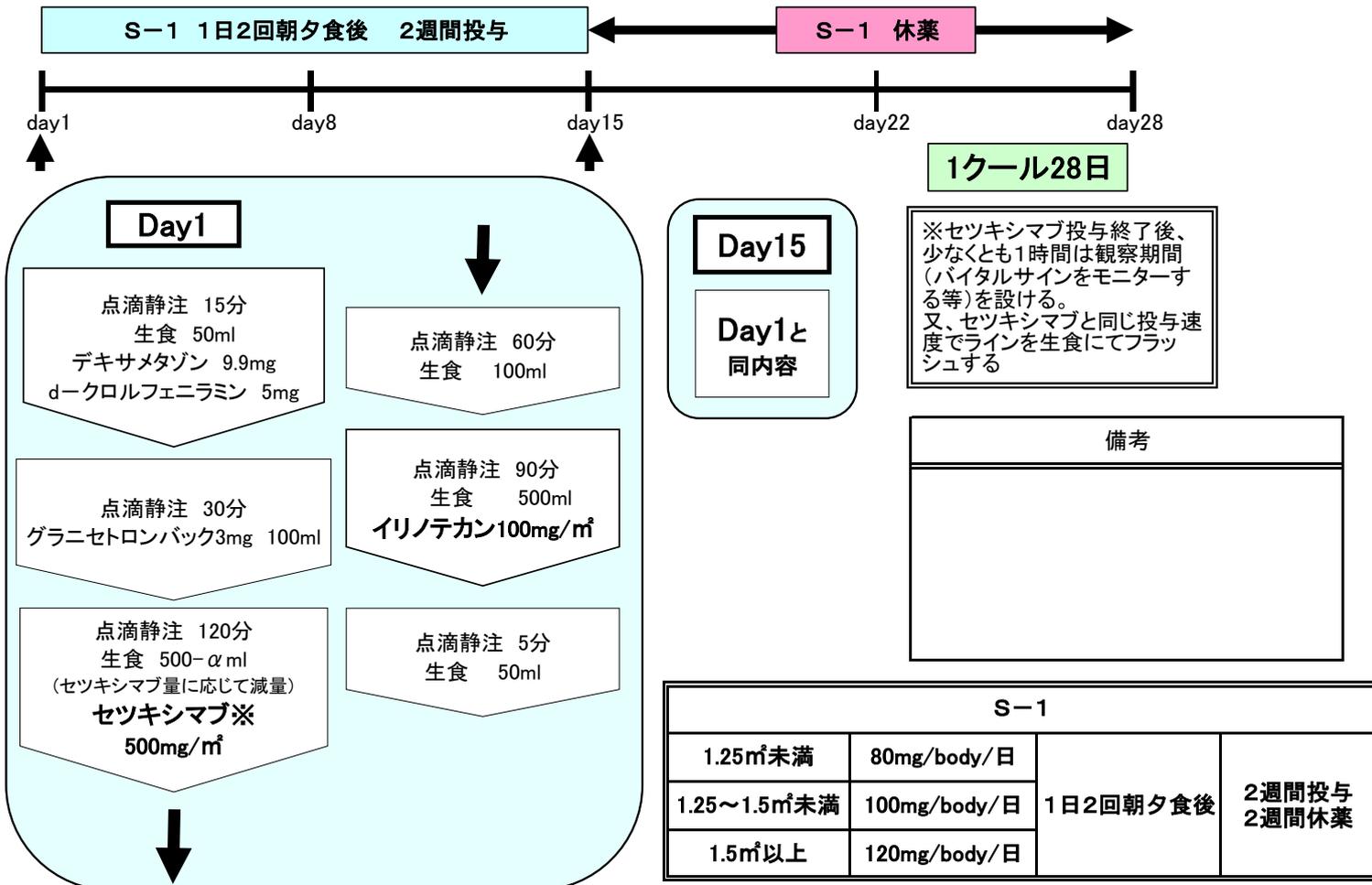


がん化学療法個人計画書 患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	プロトコール名
	結腸・直腸癌 (EGFR:陽性+RAS:野生型)	biweeklyセツキシマブ+IRIS
投与予定	休薬を含めて1クール 28日	施行可能な限り



薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	薬価最小組み合わせ	備考
セツキシマブ	500 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body		
イリノテカン	100 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body	内 40mg 100mg	
S-1	プロトコール登録時のS-1投与基準量は上記表参照		mg/body		記載投与量は1日の投与量

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間	
デキサメタゾン	8mg	分2 朝昼食後	day2~3、16~17	
患者の状態に合わせて下記の内服を処方することがある				
炭酸水素ナトリウム	1.5g	分3 毎食間	day1~4、15~18	○infusion reactionについて ・投与速度は10mg/分以下:速いとリスク増加。 ・重度は投与中止し再投与は行わない。 ・軽度~中等度は投与速度を半分の5mg/分以下。再度infusion reactionが現れた場合には再投与しない。 ○G3以上の皮膚症状発現時の投与延期・減量基準 まず投与延期または中止 投与延期後、セツキシマブ再開時の用量調節の目安有り
酸化マグネシウム	2.0g	分3 毎食後		
ウルソデオキシコール酸	300mg			
メトクロプラミド	15mg			